

医療・福祉

高度救命救急施設の誘致が実現し、「福祉のまち枚方」にふさわしい高齢者・障害者施策が展開

子育て・教育

保育所に入れない待機児童が解消されるなど子育て支援が充実。学校施設の改修など教育環境も整備

生活基盤整備

先送りされてきた第2清掃工場と新火葬場をはじめ、道路、下水道など市民生活の基盤整備が着実に前進

行財政改革

人件費の削減など行革の推進により市財政が健全化、確保した財源は市民サービスに充当

人が輝き、まちが輝く「心ときめく枚方」を実現

「ときめき枚方」市民の会では、中司宏市長とともにマニフェストに基づく市民参加のまちづくりをすすめています。このほど、今後4年間の政策を具体的に示した新しい「枚方マニフェスト2007」ができました。

このマニフェストは、2003

なか つか ひろし
中司宏市長が
提案

年に全国に先駆け77項目にわたるマニフェストを公表し、約9割の事業を実現した中司市長が、幅広い市民の声を取り入れて作成し提案したものです。

「ときめき枚方」市民の会では、財政見通しを示した上で市民ニーズをきめ細かく取り入れ、枚方の明るい未来を見据え、市民本位の改革をめざす「枚方マニフェスト2007」を支持。実現に向けて中司市長とともに全力を注いでいきます。

新しいマニフェストができました

マニフェスト作成の経過

枚方市では中司宏市長が北川正恭前三重県知事とともにマニフェスト運動を提唱し、2003年に全国初のマニフェストを発表。マニフェストに基づき市政改革と市民参加のまちづくりがすすめられ、市財政の健全化や都市基盤の整備、情報公開の推進など数々の成果をあげてきました。

中司市長が掲げた「枚方版マニフェスト」の達成度を市民の目線でチェックしようと、市民でつくる実行委員会が一昨年、昨年と二度にわたって「検証評価大会」を開催しました。そして、同実行委員会では、マニフェストを採点した市民評価委員の意見と会場のアンケートを踏まえ、教育・福祉など36項目にわたる独自の「市民提言マニフェスト」を作成。



検証評価大会実行委員会から市民提言マニフェストを受け取る中司市長

「マニフェストに市民の声を多く反映させることでまちづくりへの関心を高めたい」と発表の理由を話しています。

中司市長は、これを受けて多くの市民の声を反映させて「枚方マニフェスト2007」を新たにまとめました。

●2003年3月

全国に先駆け「枚方版マニフェスト」を公表

●2003年5月～

中司市長のもとマニフェスト型の市政運営

77項目の公約のうち9割が実現

●2005年10月
2006年10月

市民が達成度を検証・評価（全国初）

●2007年3月

市民マニフェストの提案

●2007年3月

中司市長が新しいマニフェストを作成

たくさんの市民の皆さんの
声を反映させています

マニフェストによるまちづくりを推進



「マニフェスト2007」80の約束

新しいマニフェストは、「人間愛」「自然愛」「郷土愛」を基本理念に、市民一人ひとりがいきいきと輝き、まちも輝く「心ときめく枚方」の実現をめざしています。市民参加と協働、市民生活を守るための改革の推進を合言葉に、財政の見通しを示した上で、説明責任を果たしながら、具体的な政策に取り組むことを市民の皆さんに約束します。今後4年間で新たにに取り組む80の約束のうち、主な政策を紹介します。

1

子どもの豊かな心を育み成長と学びを支援

- ★ 乳幼児医療費助成の対象を就学前児童まで引き上げ(19年度)
- ★ 新生児に絵本を贈るブックスタートや絵本フェスタを開催(19年度)
- ★ 私立幼稚園での預かり保育などモデル事業を支援(19年度)
- ★ 全小・中学校の教室、幼稚園の遊戯室にエアコンを設置(20年度)
- ★ 留守家庭児童会の時間を延長し対象を全学年に拡大(20年度)
- ★ 土曜日に全児童を対象に事業を実施(21年度)
- ★ 子育て家庭の買い物等を支援するポイント制度を実施(20年度)
- ★ 小学1年で30人学級、2年以上で35人学級を実現(20年度以降)
- ★ 学校の改修・耐震化をすすめ、三中、枚二小を建て替え(4年間)
- ★ 地域子育て支援センターやつどいの広場を10か所増設(4年間)

2

安全と安心を確保し市民の健康づくりを推進

- ★ 市民のネットワークで食育推進運動を展開(19年度)
- ★ 自主防災組織で「防災士」などリーダーを育成(19年度)
- ★ 交通事故多発地点で効果的な事故防止対策を実施(19年度)
- ★ 携帯電話等を活用した見守りネットワークづくりを支援(19年度)
- ★ 市民病院を建て替え、産科、小児救急や終末期医療を充実(24年度までに)
- ★ 第2枚方警察署の早期開設(大阪府への働きかけを継続)
- ★ 保健所を市に移管し、総合的な保健衛生業務を推進(21年度)

3

福祉を充実し支え合う中でやすらぎを実現

- ★ 老人クラブの加入率を高め協働で「いきいき活動」を実施(19年度)
- ★ 適正雇用を確保する公契約条例を制定し勤労者対策を充実(21年度)
- ★ 肢体不自由児通所施設「幼児療育園」を市民病院と併設(21年度着手)
- ★ 障害児の特別支援教育を充実し特別支援高校を誘致(22年度までに)
- ★ 障害者のグループホーム・ケアハウスを160人分増設(4年間)
- ★ 小規模特別養護老人ホームを200人分増設(4年間)
- ★ 高齢者のましかどデイハウスを5か所、地域包括支援センターを7か所増設(4年間)

4

地球環境を守り豊かな自然と共生

- ★ 地球温暖化対策へ地域協議会を設立し省エネ・緑化を推進(19年度)
- ★ 里山保全のための組織体制と活動拠点を整備(19年度)
- ★ 良好な町並みと歴史的景観を守るため景観保全条例を制定(20年度)
- ★ 環境学習の拠点となる「自然学習園」を東部地域に整備(21年度)
- ★ 廃プラ・剪定枝の分別等で焼却ごみを30%以上削減(22年度)
- ★ 都市農業の振興のためエコ農産物等の地産地消を推進(4年間)

5

平和を発信し生涯学習の推進で賑わいを創出

- ★ 「平和ネットワーク会議」を市民との協働で設立(19年度)
- ★ 菊づくりマイスターの養成や桜の回廊を整備(19年度から)
- ★ 貴重な歴史遺産の百済寺跡や九頭神史跡公園を整備(19年度から)
- ★ 男女共同参画条例を制定しDVシェルターを設置(20、21年度)
- ★ 野球場とラグビー場を整備(21年度)
- ★ 総合文化会館を都市型ホテルとの合築で整備(24年度オープン)

6

都市基盤を整備し産業活力を向上

- ★ 舟運再生へ淀川で枚方港を整備(19年度)
- ★ 牧野・長尾の駅前広場の整備を推進(19年度から)
- ★ 市内商業の振興に向け商業活性化条例を制定(20年度)
- ★ ものづくり博覧会の開催や6企業団地等への支援(20年度)
- ★ 星ヶ丘公園と印田ふれあい公園を整備(20、21年度)
- ★ 枚方藤阪線や御殿山小倉線など幹線道路を整備(22年度)

7

市民参加と協働の仕組みをつくり改革を推進

- ★ 校区コミュニティ主体の「地域づくりデザイン事業」を実施(19年度)
- ★ 情報公開条例の改正や公会計改革の推進で透明性を向上(19年度)
- ★ 市民や企業の寄付によるNPO活動支援基金を創設(19年度)
- ★ 市民との協働の基盤となるラウンドテーブルを創設(19年度)
- ★ 「市民参加」「住民投票」「自治・協働」の各条例を制定(19～21年度)
- ★ まちへの愛着を育て市民の定住志向をさらに向上(4年間)

「第1期マニフェスト」では大きな成果

中司市長の手によって枚方市政に取り入れられたマニフェストは、77項目の約束のうち、約9割が実現するなど大きな成果をあげてきました。

例えば、人件費の削減など行財政改革の推進により市財政の健全化が図られ、長年の懸案だった第2清掃工場と新火葬場は来年オープンに向け整備がすすみ、高度救命救急施設の誘致も実現。

さらに、保育所に入れない待機児童も解消され、図書サービスの拠点となる中央図書館もオープンするなど、具体的に数字で目標を掲げることで行政の仕事がスピードアップしました。

市職員の意識改革もすすんでコスト意識も向上し、市役所のぬるま湯ムードも改善。行政の透明性が高まり、情報公開もすすみました。枚方市のまちづくりは日経「自治体ランキング」でも高い評価を受け、市民の定住志向も高くなっています。

市民生活を守るためさらなる改革をすすめます!

マニフェストの詳細は中司ひろしホームページをご覧ください。

なかつかひろし

検索

なかつかひろし で検索

<http://h-nakatsuka.com>

●市民の皆さんのご意見をお寄せください●

「ときめき枚方」市民の会

TEL.072-861-0015 FAX.072-861-0025

〒573-1191 枚方市新町1-13-52

「ときめき枚方」市民の会ニュース Vol.2